



こころ
BOOK
2026

KOKORO BOOK 2026

こころBOOK 2026

KOKORO BOOK 2026

こころBOOKとは？

こころBOOKに掲載されている学校園は、令和7年度「こころの再生」府民運動@スクール表彰で表彰された学校です。頑張っている子どもたちの取り組みをみなさんに伝えることで、各学校園での新たな取り組みが実践されることを期待しています。ぜひ、子どもたちの思いやりを育み、地域との交流につながる活動に積極的に取り組んでみてください！

- 01 こころBOOKとは、目次
- 02 「こころの再生」府民運動とは？
府民のみなさまへ
- 03 SDGs部門の紹介
- 04 かまいたち濱家隆一さんから
こころのメッセージ
- 令和7年度@スクール表彰校
- 06 学校法人竹田学園 茶山台幼稚園
- 08 大阪市立姫島小学校
- 10 枚方市立中宮小学校
- 12 茨木市立南中学校
- 14 大阪市立昭和中学校
- 16 柏原市立玉手中学校
- 18 四條畷市立田原中学校
- 20 寝屋川市望が丘中学校区
- 22 府立咲くやこの花中学校
- 24 府立阿武野高等学校
- 26 府立北千里高等学校
- 28 府立香里丘高等学校
- 30 府立桜塚高等学校
- 32 府立摂津高等学校
- 34 府立野崎高等学校
- 36 府立東住吉高等学校
- 38 府立岬高等学校
- 40 府立みどり清朋高等学校
- 42 府立八尾翠翔高等学校
- SDGs部門表彰校
- 44 東大阪市立盾津中学校
- 46 学校法人浪速学院 浪速中学校

「こころの再生」府民運動とは？



大阪「こころの再生」府民運動

大阪府・大阪府教育委員会が推進している、大切な「こころ」を見つめ直し、今日からでもできる身近な取り組み(7つのアクション)を呼びかける運動です。

大切にしたい5つのこころ

- いのち たいせつ 生命を大切にする
- おもいやる 思いやる
- かんしゃ 感謝する
- どりよく 努力する
- まも ルールやマナーを守る

7つのアクション

- こ 子どもの話をじっくり 聞く
- 「あかんもんはあかん」と はっきり しかろう
- 「ええもんはええ」と はっきり ほめよう
- 「あいさつ」を もっと大切にしよう
- 「おかげさんで」をもっと大切にしよう
- 「ユーモア」を大切にしよう
- 地域にどんでん 出していこう

「こころの再生」グッズ(ゆめ基金を活用) ※のぼり・ピブスは希望のあった学校全てに配っています

ポスター

「こころの再生」府民運動推進月間の11月には、駅などにも貼りだします

のぼり

優しいもも色
元気にあいさつをする
ことを意識してみよう

ピブス

ショッキングピンク!これを着れば明るい気持ちになれるかも!?校門前でもめだちます

〇「こころの再生」府民運動の事業には「大阪教育ゆめ基金」が活用されています。
 〇「大阪教育ゆめ基金」では子どもたちの「学び」と「はぐみ」を支えるため、広く寄附を募っております。
 〇ふるさと納税の制度を利用したこの基金は、学校や図書館など応援したい施設を指定して寄附をすることができます。また、新たに「さとふる」、「ふるさとチョイス」、「楽天ふるさと納税」でもご寄附いただけるようになりました!皆様からのご寄附をお待ちしております!

@スクール表彰について

また、SDGsに関する取り組みについても表彰しています。 44ページからご紹介!

※SDGsとは…国連が掲げる「持続可能な開発目標」のこと。

府民のみなさまへ

7つのアクションの中の1つに「子どもの話をじっくり聞く」があります。子どもをはっきりと「ほめる」「しかる」ためには、まずは子どもの話をじっくり聞くことが重要です。また、子どもと「ユーモア」を共有する、「おはよう」とあいさつをする、地域と交流する、「おかげさんで」と感謝の気持ちを伝えるなど、全てのコミュニケーションに「話を聞く」ことは不可欠です。「こころの再生」府民運動では、「子どもの話をじっくり聞く」のような、日常では忘れてしまいがちな大切なことを伝え、できることから取り組むことを呼びかけています。この「こころBOOK」をご覧いただき、大切な「こころ」について考えるきっかけにしていいただければ幸いです。

SDGs部門の紹介

令和4年度、「こころの再生」府民運動@スクール表彰にSDGs部門を設けています。この部門では、SDGsに取り組む大阪府内の学校を掲載しています。これからの未来を担う子どもたちが自分たちにできることは何なのかを真剣に考えています。未来をよりよくしていくために複雑な社会の課題に向き合い、ときにユーモアのあるアイデアもおりませながら解決を図っています。そこに共通してある「こころ」は、相手の立場になって理解しようとする、その上で自分たちにできる解決方法を考えること、そして実際に行動してみることです。さあ、みなさんも自分たちにできることから始めてみませんか。



- 44-45 ひがしおおさかしりつたてつちゅうがっこう **東大阪市立盾津中学校**
- 46-47 がっこうほうじん なにわがくいん なにわちゅうがっこう **学校法人浪速学院 浪速中学校**

SDGs (持続可能な開発目標) とは?

SDGsとは、すべての人々にとってよりよい、持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決をめざします。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。

しゅってん こくさいれんごうこうほう
(出典:国際連合広報センターホームページ)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



かまいたち

濱家隆一さん こころのメッセージ



Message from RYUICHI HAMAI

小学生時代の思い出と 恩師との出会い



○小学生時代

小学生の頃は、今振り返ると、担任の先生に少し嫌がられるような、手のかかる生徒だったのかもしれないと思います。口も立つし、生意気だっというので。すごくやんちゃだったとか、喧嘩をしたとかそういうことではないですけど、宿題をあまりちゃんとやらなかったり、ノートもあまり書かなかったり、何も考えずに生きていたような気がします(笑)。ただ、学校へ行くのは好きで、楽しく過ごしていました。人を笑かすことも好きでしたね。

○恩師との出会い

5・6年生の担任の先生がすごく良い先生で、道を示してくれたように思います。当時、僕が異常にエネルギーに満ちていたらしく、「パワー有り余ってるな、この子」みたいな感じで見てくれたみたいで(笑)。向き合ってもらえたおかげか、6年生の時は勉強や宿題もちゃんとやるようになって。真剣に向き合ってくれる先生がいたからこそ、ガラッと変わった感じはありました。

言われて一番覚えているのは、「思うままに自由にやりたいうことをやって生きていいけど、その自由の裏側には責任ってものがついてくるから、そこは考えてやらなあかん。だから、自由にやりたいんやったら、宿題や勉強もする。決められたことはある程度する。そういうルールを守らんと、それは許されへんぞ。」ということ話をしてくれて、それがだいぶ大きかったかなと思います。今でも同窓会をすると、たくさん人が集まるぐらい、めっちゃめっちゃ慕われている先生です。

濱家さんの中学生時代、 高校生時代



○中学生時代(野球部)

一番仲良かった友達がみんな野球部に入るって言ったんで、僕も野球部に入りました。野球が上手になりたいだけではなく、毎日練習があるからという理由だけで部活に行ってる、野球は全然上手くはならなかったです。ただ、ムードメーカー的な存在で、めっちゃ声を出す、盛り上げるポジションでしたね(笑)。上下関係はすごく厳しくて、先輩も怖かったですけど、でもそこでの経験があったからこそ今のメンタルがあるのかなと思います。

○高校生時代や将来

高校は、姉が通っていた学校を選び、文化祭も楽しそうに学力もちょうどよかったこともあって、そこへ決めました。もともと、小学校時代から生徒会長や合唱コンクールの指揮者など人前に立つことは好きで、高校の修学旅行のキャンプファイヤーでは、人前で初めてコントを披露しました。物心ついた頃から、ダウンタウンさんの影響で将来は芸人になりたいと思って、そこからは迷うことなく、「芸人になりたい」以外の選択肢はなかったです。迷っている同級生もいましたが、そこは自分がラッキーだったと思います。



NSCへの入学、 そして人生の転機

野球部に入るときや高校を選ぶときは、周りを見て慎重に動きましたけど、NSCだけは一人で行くと決めて、一人で動きました。売れへんかったらどうしようとか、結果が出なかったらどうしようとか、一切考えてなくて、「俺がやんねんから、成功するねん」みたいに思っていました(笑)。

コンビ結成3年目から色々な賞を獲って、同世代の中では仕事が入り始めて、「もう大丈夫、売れた。このままいける」と天狗にもなっていたと思います。遅刻をしたり、生活がだらだらしたり、「芸人やから別にええねん」というような変な芸人像にとらわれて、楽をし始めたんですよね。それから、段々と評判も悪くなってきて、仕事も減っていき、真面目にやってる周りの人たちは仕事が増えていく。この差を見て見ぬふりをして、人からの指摘も受け入れない、そういう期間が数年続きました。

転機となったのは、当時、妻から言われた言葉ですね。「絶対に売れませんよ、あなたは」って言われたんですよ。これまでのだらだらした生活のこと、遅刻して仕事に行くこと、自分の仕事(ライブ)の告知もしないこと。最初は「わかった、わかった。もうええわ」と聞き流していたんですけど、聞いているうちに、これだけ熱を持って言ってくれる人間っていないんじゃないかなって思いました。それから、色々なことを言われた通りにやっていきました。頭があがらないですね(笑)。

濱家さんが大切にしているところ

徹底してできているかどうかは分かりませんが、僕が一番大切にしているのは「感謝する」ですね。自分が仕事をする上で、今日のインタビューでも、メイクさん、スタイリストさん、マネージャーさんが色々準備をしてくれて、全部にほんま感謝せなあかん、と思いますね。感謝している人で、嫌な人っていないじゃないですか。めっちゃ努力する嫌な人はいるかもしれないけど、めっちゃ感謝する嫌な人ってあまり会ったことないから(笑)。

大阪のこどもたちへのメッセージ

人に何かを言えるほどの人生を歩んでいないんで、あまり偉そうなこと言えないですけど…みんなそれぞれしんどいし、何かしら嫌なこともあるし、その大小はあったとしても、自分だけではないって思えたら、ちょっと楽になるのかなって思うのは思います。

無責任かもしれませんが、「なるようになるし」って思うんですね。ただ、やらなかったら何もならない。なるようになるけど、「何もしない」のとは違う。今の若い子たちには「とりあえずやってほしいな、動いてほしいな」と思いますね。しんどかったとしても、自分が動かないと何も起こらない。自分が動いて然るべき行動をとってあげれば、「なるようになるな」という気持ちがありますね。しんどいこととかたくさんあっても、みんなそうやし、努力することが当たり前なんだという心構えで、頑張してほしいなと思いますけどね。なんか偉そうにすいません。

Profile

はまいえ りゅういち
濱家隆一

【所属】吉本興業
【生年月日】1983年11月06日
【出身地】大阪府大阪市

NSC大阪校26期生。2004年に、相方の山内健司さんとお笑いコンビ「かまいたち」を結成。「キングオブコント2017」優勝。「M-1グランプリ」3年連続決勝進出。YouTubeチャンネル「かまいたちチャンネル」を運営中。

スタイリスト:嶋岡隆(Office Shimarl) メイク:藤井陽子





がっこうしょうかい
学校紹介



茶山台幼稚園は泉北ニュータウンにあり開園56年目を迎えています。恵まれた自然環境を生かして豊かな園生活が出来、園内には子ども達がお世話をする色々な動物があり、お当番活動が盛んな幼稚園です。
 幼児期は挨拶を含め基本的な生活習慣を獲得するにふさわしい時期、そして大人の姿を見ながら成長する時期でもあります。やさしく(愛情)きびしく(教育)大切に(誠意)を教育方針として、子ども達と向き合っています。

とくくく
取り組み内容

1 **茶山っ子あいさつ運動**

本園では挨拶を大切にしています。自分から誰にでも大きな声で挨拶する気持ちよさを感じ、お互いに受け答えすることを通して、コミュニケーション能力を高めることができる活動の一つとして考えています。

元気に大きな声で挨拶出来る事は、自分自身をも勇気づけ、一日の始まりから積極的に、活発に活動を始めることができます。また、挨拶を受けた子どもも自ら声を出して挨拶することで、気持ちが鼓舞され、勇んでお部屋に向かうことが出来る事も多いと感じています。大人も子どもも元気に挨拶を交わし合い、いい笑顔の一日を共有できることは、とても素晴らしいと思っています。



こどものメッセージ

あいさつ当番が、楽しいです。
 あいさつをすると気持ちいいですよ。
 大きな声でしています。
 にこにこ笑顔でがんばります。



こどものメッセージ

元気にあいさつしてくれてうれしかった。
 目を見てくれてうれしかった。
 とまってあいさつしてくれてうれしかった。
 おじぎをしてくれて心が気持ちよかった。



こどものメッセージ

僕はあいさつを頑張っています。
 小学校に行っても
 元気にあいさつをします。





がっこうしょうかい
学校紹介



ほんこう めいじ ねん ねん がつ かいこう れいわ ねんど
 本校は、明治7年(1874年)2月に開校し、令和5年度に
 創立150周年を迎えました。

「強い子 ねばり強いからだと心を養う」を学校教育目
 標にかかげ、健康な体をつくり、「いのちを大切にす子。」
 「たゆまず努力し、やさしく思いやりのある子。」の育成を
 めざして教育活動を行っています。

日々の学校生活で、子どもたちが安心していきいきと過
 すごすることができる学校にするために、教職員一同が協力し
 て取り組んでいます。

とく りくみ ないよう
取り組み内容

1 クリーンアップ大作戦

「クリーンアップ大作戦」は、毎年3年生の児童が地
 域の老人会や女性部の方とともに、姫島公園の清掃
 を行います。3年生の児童は、地域の方から掃除道具
 の正しい使い方を教わりながら、一緒に公園を綺麗
 にします。この活動を通じて、児童は地域の方と公園
 を綺麗にする喜びを共有します。



じどう
児童のメッセージ

自分たちが使っている公園を地域の人が
 掃除してくれていることを初めて知りました。
 一緒に掃除をして、ごみがたくさん集まったのを見て、
 ごみを道や公園に捨ててはいけなかったと思いました。

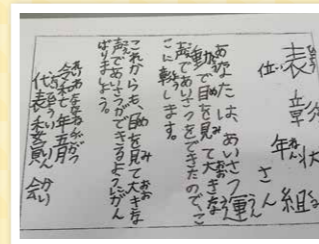
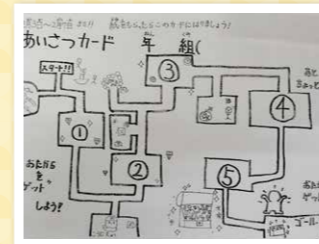
2 ひめじま
姫島ハッピーフェスティバル

「姫島ハッピーフェスティバル」は、児童の登下
 校を毎日見守っている地域の方を学校に招待する
 お祭りです。児童は、縦割り班で考えたお店を運
 営し、日頃の感謝を伝えます。この活動により地域
 の方は児童へ親しみを感じ、児童は地域の方に感
 謝の気持ちを伝えることができます。



3 うんどう
あいさつ運動

「あいさつ運動」は、5・6年生が所属している委
 員会ごとに7・9・11・1・2月に1週間ずつ登校する
 児童へあいさつをしています。各委員会全校児童
 のあいさつがより良くなるように、登校した児童
 にカードを渡し、5枚集めた児童には賞状を贈呈
 するなど工夫をして取り組んでいます。この運動を
 通して、児童は自発的にあいさつする習慣を身に
 つけています。



じどう
児童のメッセージ

学校に行くときに挨拶をする声が聞こえたから、
 みんなが挨拶していたので
 取り組んでよかったと思いました。
 嬉しかったのは、多くの人が見て
 大きな声であいさつをしてくれたことです。



じどう
児童のメッセージ

相手から挨拶されるのを
 待つのもいいかもしれないけど、
 自分から挨拶をすることで、
 大きな声で挨拶を返してくれるので、
 自分から進んで挨拶するようになりました。



学校紹介



本校は、昭和47年(1972年)創立の小学校です。校内に鳥居があり「才神様」が祭られています。12月第1週日曜日には、地域の皆様と一緒に祭を行っています。子どもたちにとっても「さいがみさま」と親しまれており、学校のシンボルとなっています。

学校教育目標「次代を担う主体性を育む」を掲げ、「進んで学ぶ子」「心豊かな子」「たくましい子」の育成をめざしています。地域とのつながりを大切に、学校・保護者・地域の三位一体となって子どもたちの育成に努めています。

取り組み内容

1 中宮校区子ども安全見守り隊

中宮小学校校区において、今から約20年前に、地域の方々による「なかみや こども見守り隊」が組織され、それから現在にいたるまで子ども達の登下校を日々見守っていただいています。完全なボランティアでの取り組みであり、年に3回ほどの会議を開催し、危ない場所や心配な児童の情報共有など行われています。

見守り隊のみなさんは、子どもたちにとっても安心な存在であり、日々のあいさつやちょっとした会話を通して、心の交流が行われています。



2 地域との交流

本校では、地域との交流を推進しています。1・3年生は福祉交流会との昔遊び体験、2年生は年賀状交流、4年生以上は福祉体験で地域の方々と交流しています。子どもたちからは、身近な方からいろいろなことが学べる喜びと感謝の声が聞こえます。また、地域の皆様からは、「お礼状をいただいて非常に嬉しかった」「元気が出た」などの声が聞こえます。このように心のつながりが生まれています。「時を守り・場を清め・礼を尽くす」を共通モットーとし、地域とともに実践しています。

いつも笑顔を絶やさずに挨拶してくれる見守り隊の方には感謝しています。

元気がある時も、出ない時も、いつも元気をもらっています!

私は、挨拶が大好きです。

なぜなら、心が温かくなって元気になるからです。

これからも挨拶を続けていこうと思います。

児童のメッセージ

中宮小学校は、挨拶が上手で素敵な学校です。

地域の方も朝早くから元気に挨拶をしてくれていて、ありがとうございます。

いつも「おはようございます」って言ってます。

見守り隊の人は、元気に挨拶してくれるのでうれしいです。

才神様について

本校は、正門から入るとほどなくして赤い鳥居が目に入ります。そこには、中宮校区の守り神「才神様」が祭られています。才神様の由来には「才神さんとは、道祖神ともいい、むかしここを通る旅人が、安全をいのったり、中宮の人々が、悪い病気になったり、思わぬさいなんにあつたりするのをまもるために、まつられたものです」とされています。

子どもたちも、中宮小を紹介する際「な「仲のよい学校」か「神様がいる学校」・み「みんな元気な学校」・や「優しい学校」と紹介しており、学校のシンボルとなっています。





学校紹介



本校は、1967年に開校しました。学校目標「一人ひとりが大切にされ 信頼の絆で結ばれた とともに学び合う学校」の実現に向け、生徒・教職員・保護者・地域が一体となった学校づくりを進めています。

生徒一人ひとりの存在や思いが尊重され、安心して自分らしさを発揮できる環境づくりを大切にしています。互いを認め合い、支え合う関係性の中で、信頼の絆を育みながら、誰もが居場所を感じられる学校を目指しています。

取り組み内容

あいさつで ころろつながる みなみっ子

1 朝のあいさつ運動

本校では、前期・後期ともに、活動している委員会の生徒たちが、交代制で毎朝元気によくあいさつ運動を行っています。

これまで学校の正門前に、あいさつに関する横断幕（「あいさつで今日も一日元気に」）を掲げていましたが、劣化が進んできたため、新しい横断幕を作成することにしました。あいさつに関する川柳を全校生徒に考えてもらい、選考の結果、【あいさつで ころろつながる みなみっ子】に決定し、新しい横断幕を設置しました。

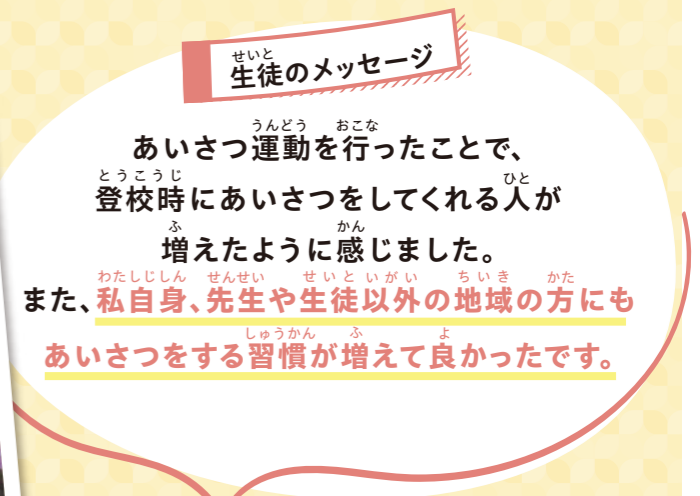
現在実施しているあいさつ運動を、地域の小学校（自分の通っていた小学校）でも行いたいとの声が生徒会本部役員の生徒から挙がっており、これをきっかけに、「7つのアクション」の一つである【地域にどんどん出ていこう】にもつながられる活動にしていきたいと考えています。また、あいさつ運動を今後も継続して行っていくことで地域の活性化および、「5つのころろ」の醸成につながると感じています。



生徒のメッセージ

あいさつをしたときに、その相手にあいさつを返してもらうためには、こちらが元気な声を出すことが大切なのだと思えることができました。

そのことを意識するようになってからは、多くの方が私にあいさつを返してくれるようになりました。



生徒のメッセージ

あいさつ運動を行ったことで、登校時にあいさつをしてくれる人が増えたように感じました。

また、私自身、先生や生徒以外の地域の方にもあいさつをする習慣が増えて良かったです。



生徒のメッセージ

毎朝正門に立ってあいさつをするのは、初めのうちは面倒だと思っていましたが、多くの方があいさつを返してくれて、とても元気をもらうことができました。





がっこうしょうかい
学校紹介



おおさかしりつしょうわちゅうがっこう しょうわ ねん がつ おおさかしりつあべのだいいちゅうがっこうとして せうりつ ねん れきし きぎ 「主体的に学びを考え創造する生徒を育てる」ことを目標 じょうほうかつようのうりよく いくせい かつよう きょうどうがく に情報活用能力の育成をめざしたICTを活用した協働学習と人との交流を大切にしています。自主性を育むために生徒議会が主体となった取り組みもたくさんあります。その取り組みの主軸の一つが、「こころの再生」府民運動の一環として取り組んだ朝のあいさつ運動です。

とく りく ないよう
取り組み内容

せいと ちゅうしん うんどう
生徒会を中心としたあいさつ運動

あさ うんどう
1 朝のあいさつ運動

いちにち あか す せいと ちいき かた 一日を明るくみんなが過ごせるように、生徒や地域の方に げんき こえ か あさ せいと とうこう じかんだい せいと 徒会役員が門に立ち、「元気にあいさつをしよう『こころの再生』府民運動」ののぼりを持って、「おはようございます」と笑顔で声をかけます。門では教員も一緒にあいさつをしています。朝の「おはようございます」が日常の風景となっています。

せいと せいと
生徒のメッセージ

まいにちおな じかん がっこう くるから
毎日同じ時間に学校に来るから生活リズムも整い、いろいろな人との交流が増える楽しい活動です。



せいと せいと
生徒のメッセージ

まいあさ げんき あいさつ せいと 毎日、元気よく挨拶することを心掛けています。ポジティブに毎日過ごせるようになりました。

みなさんに、あいさつ かえ 挨拶を返してもらえると嬉しい気持ちになります。



2 ちいきぎょうじ さんか
地域行事への参加

あいさつ うんどう はじ せいと せいと 府民運動は、生徒たちに人とのつながりを意識する心を育みました。そのことにより地域との連携がさらに深まり「長池フェスティバル」や「防災イベント」など、地域行事に部活動やボランティアという形で参加することが日常化するようになりました。地域の方々も生徒の参加を期待してくださり、生徒たちも楽しみにしている行事となっています。あいさつが学校と地域を強く結びつけてくれました。



せいと せいと
生徒のメッセージ

いま ちが かつどう 今までは違ったボランティア活動でした。学校の生徒同士だけでなく、多くの人とコミュニケーションが取れて楽しい時間でした。



せいと せいと
生徒のメッセージ

ぎょうじ 1つの行事のために、多くの人が多の役割を果たさないといけないということを知りました。自分が苦手な分野の役割にも挑戦することができ、良い経験となりました。





がっこうしょうかい
学校紹介



ほんこう しょうわ ねんそうりつ かしわらしない ひかくてきあたら がっこう
 本校は昭和60年創立の柏原市内では比較的新しい学校
 です。「高い志をもち、自ら学ぶ生徒の育成～自立、創造、
 友愛～」を学校教育目標とし、一人ひとりの生徒が、自分の
 よさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値の
 ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な
 社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能
 な社会の創り手となることをめざして、日々教育活動に取
 り組んでいます。

とくくみ ないよう
取り組み内容

1

ちいきせいそうかつどう
地域清掃活動

ちいき がっこう じもときぎょう とくくみとして れいわ ねんど ちいきせいそうかつどう
 地域と学校、地元企業をつなぐ取り組みとして、令和6年度より地域清掃活動を
 実施しています。11月中旬の授業参観日程に合わせて、地域福祉委員やPTA、健全
 育成会及び地元企業が中心となり、本校で部活動に所属している生徒とともに、校区内
 のごみ拾い及び清掃活動を実施しています。

ちいき せいそうかつどう つう ひと たいせつ ところ いくせい ふ
 地域での清掃活動を通じて、人やものを大切にする心の育成が、「ところの再生」府
 民運動と大きく関連している部分です。また、活動を通して中学生が地域の大人と顔
 の見える関係性を築くことで、あいさつ運動の活性化、コミュニ
 ケーションを通じた大人からの承認による自己肯定感の向上、
 地域の青少年健全育成への意識啓発について効果がありました。



せいと
生徒のメッセージ

ちいきせいそう き
地域清掃と聞いても、
 さいしょ きょうみ わ
最初は興味が湧かなかったが、
 じっさい ちいき がた まち
実際に地域の方と町をきれいにしていると、
 たの しみ
楽しいという気持ちになった。



せいと
生徒のメッセージ

ちいき きぎょう おとな はなし
地域や企業の大人と話ができて、
 いろいろなきことが知れて面白かった。
 きょねん すく
去年よりゴミが少ないなど、
 ちいき へんか し
地域の変化を知るきっかけにもなった。





がっこうしょうかい
学校紹介



本校は平成3年(1991年)に開校した中学校です。本校の学校教育目標は、「安心」「信頼」「笑顔」の3つを軸としています。子ども理解に基づいた適切な集団作りに努めるとともに、暖かい地域に支えられ、さまざまな交流や思いを大切にしながら、地域人材を活用してつながりを深めることで、安心できる学校、信頼される学校、笑顔がいっぱいの学校をめざしています。

とくく ないよう
取り組み内容

1 たわら うんどう
田原あいさつ運動

大阪郊外の四條畷市田原地区には、田原台ひまわりこども園、四條畷市立田原小学校、四條畷市立田原中学校があり、一小一中の校区です。それぞれの学校園であいさつ運動が行われていましたが、こども園、小学校、中学校が一緒に行う取り組みへと発展し、田原小中のPTAや、田原地区の地域団体である田原地区教育推進協議会、田原中校区青少年指導員会とも共同して行うようになりました。

その後、地域にある専門学校の阪奈リハビリテーション専門学校、四条畷看護専門学校の生徒や留学生なども加わるようになりました。現在では、7月初頭と11月初頭のそれぞれ3日間、地域の主要な交差点を中心に、朝の7:45~8:30に実施しています。

「こころの再生」府民運動の7つのアクションのうち、「あいさつ」をもっと大切にしようを中心に、子どもと大人が触れ合う、心の交流を大切にする運動として定期的に実施されています。



おはようございます

おはようございます

せいと
生徒のメッセージ

朝、元気がない子も顔を上げるきっかけになるし、朝のあいさつはとても大切だなと思いました。また、あいさつ運動で地域が一つになるところもとても素敵だと思います。



せいと
生徒のメッセージ

早起きは大変だったけど、一緒にあいさつしてくれる人がいて、うれしかった。



ハイ、タッチ!

ハイ、タッチ!

おはようございます

せいと
生徒のメッセージ

あいさつをして、元気な声で返されるとこちらも気分がよくなって、「あいさつっていいな」と思いました。



おはようございます

元気?



せいと
生徒のメッセージ

私はあいさつをすると大半の人があいさつを返してくれて、うれしい気持ちになりました。あいさつ運動に参加してよかったです。



学校紹介



本校は旧明和小学校と旧梅が丘小学校が統合し「望が丘小学校」に、旧第四中学校が「望が丘中学校」となり、令和6年4月に寝屋川市初となる施設一体型小中一貫校として開校しました。飯盛山の稜線を望む丘陵地帯にあり、大阪平野を一望できる自然豊かな土地にあります。そのような恵まれた環境の中で、児童・生徒が将来に望みを持ち、希望に満ちた学校生活を送ることを願って「望が丘」という校名になりました。

取り組み内容

1 ふれあいフェスタ

旧第四中学校区として学校・保育所・PTA・地域教育協議会が一体となって取り組んできた「ふれあいフェスタ」もコロナ禍や開校準備期間の中断を経て、再び開催することができました。1000人を超える子どもや保護者、地域の方々が参加し交流を深めると取り組みとなりました。

保護者のメッセージ

中学校の吹奏楽部の演奏や、保育園の子供達の太鼓を拝見しました。とても良かったです。

小学生のメッセージ

ちゅうがくせいのおにいさん・おねえさんがやさしくしてくれました。

中学生のメッセージ

笑顔で声をかけてくれて嬉しかったし、楽しかったです。



2 あいさつ運動

望が丘中学校では生徒会執行部を中心に、各委員会での取り組みやPTA活動として「0」のつく日を「あいさつ運動の日」として設定し、活動をしています。小学校の児童会とも連携し、少しずつ活動の規模を広げています。



中学生のメッセージ

朝からいろんな人とあいさつしていると楽しくて気分がよくなる。



3 デイキャンプ

小学生のメッセージ

友だちや先生、おうちの人と一緒に水遊びができて楽しかった。



保護者のメッセージ

保護者の方や先生と交流を深め、一緒に活動することができて楽しかったです。



PTAスタッフの方々や「おやじの会」の方々、また教職員の協力のもと、主に小学生を対象とした夏休みの交流イベントです。夏の暑さをふきとばす企画を開催しています。



3 学校支援ボランティア活動

昨年度4月に開校し新しい環境での生活が安心してスタートできるよう、主に保護者の方を中心に学校支援ボランティアを募って活動を行っています。朝の登校見守りや学校施設内の安全見守り、花壇のお世話などを行っています。中学校では、子どもたちの居場所づくりとして、放課後にボランティアスタッフとゲームやお話をする機会を設けました。今後は地域の方々のボランティアも募り、子どもたちの安心・安全な学校生活を広く見守ることができるよう活動していく予定です。



ボランティアのメッセージ

校内の見守りや清掃、地域で子どもを支える活動に力が入ります!





がっこうしょうかい
学校紹介



本校は大阪府内で初の公立中高一貫校です。校名には、子どもたち一人ひとりの夢を咲かせる学校になるようにとの願いが込められています。中学校は4つの分野に分かれており、ものづくり(理工)、スポーツ、言語、芸術(美術・デザイン)と早くから興味・関心の現れやすい分野の才能を伸ばします。6年間の一貫教育で特色ある教育を計画的、継続的に実施し、大阪の発展をになう将来のスペシャリストを育成します。

とく り ぐ む み ないよう
取り組み内容

1 あさ うんどう
朝のあいさつ運動

本校は中高一貫校であり、学級代表が自分たちの元気を中学生はもちろん高校生にも届けたいという思いから本校の16期生が取り組んだもので、学級代表4人でスタートしました。その後、学年が上がり学級代表が代わってもそれは引き継がれ、今年度3年生時では学年全体への呼びかけもあり、たくさんの生徒があいさつ運動に参加しました。そして間もなく卒業を迎えますが、後輩の中学2年生が自主的にそれを受け継ぎたいと申し出て、12月からは合同であいさつ運動を実施するようになりました。



せいと
生徒のメッセージ

あいさつ運動をしていくうちに、
あいさつを返してくれる人が増えて、
うれしかったです。
明るいあいさつで、みんなも自分も
笑顔になれて楽しかったです。



せいと
生徒のメッセージ

初めは軽い気持ちで参加しましたが、
毎朝のあいさつを通して交流の輪が
広がっていくのを感じました。
この輪を広げていくために、高校生になっても続けていきたいです。



せいと
生徒のメッセージ

あいさつ運動は
朝の眠気を吹き飛ばすような活動で、
とてもやりがいがありました。
笑顔であいさつをすると笑顔が返ってくる。
とてもうれしくて楽しい
朝の時間になりました。





学校紹介



阿武野高校は全日制普通科の学校で、興味・関心や進路に応じて2年次より文系、理系、スポーツ専門コース、福祉・保育専門コースを選択することができます。また、知的障がい生徒自立支援コースを設け、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進しています。「つながり」「ぬくもり」を大切に、地域や国際交流でいろんな人に出会い、支えられ自分の可能性を広げていくことができます。生徒が主役の「ときめき」あふれる学校生活が阿武野高校にあります。

取り組み内容

ぬくもりある阿武野高校「居場所づくり」の推進

1 校内居場所カフェ「あぶりすのおうちカフェ」オープン

これまで「すまいる週間」として、生徒たちが気軽に相談や話ができる場を提供してきました。今年度からは校内居場所カフェもスタートしました。地域のスタッフの方と打ち合わせを重ね、令和7年度「NPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業」の支援を受け、オープンに至りました。カフェの名称は、生徒たちからの公募によるものです。カフェとしてのオープンは隔週ですが、昼休みは毎日部室を開放しており、生徒たちが気軽に立ち寄れる場所になっています。

生徒のメッセージ

いろいろな人と話すこともできるし、ゲームなどの遊びもできます。何もせずくつろぐこともできて、落ちつける場所です。



2 イングリッシュランチの開催

アメリカのケントレイク高校と姉妹校提携をしており、夏にアメリカからの留学生を受け入れ、春には本校から留学生を派遣しています。そのようなきっかけもあり、AETや英語科教員が協力して、原則毎日イングリッシュランチを開催しています。ここでは、英語での会話だけにとらわれず、文化の違いを知るきっかけにもなり、生徒たちが異文化に触れる機会となっています。

生徒のメッセージ

イングリッシュランチで先生と話すことで、英語がより好きになりました。毎日が楽しみです！



3 文化祭での生徒会企画 全校生徒、教員で作る「あぶりす」

生徒のメッセージ

生徒だけでなく先生も参加し、目に見える形で「つながり」を表現できました。こうやって形に残るものは大切だと感じ、続けていきたいと思いました。

全員が協力して何かできないか、という生徒会の考えで、一人一人が折り鶴を作り、それを本校のキャラクターである「あぶりす」にデザインしました。全員の折り鶴をデザインし、みんなが協力したことで出来上がった作品を文化祭にて展示しました。





学校紹介



本校は千里藤白台にある緑豊かな学校です。生徒主体を掲げ、生徒会執行部を中心に委員会や部活動と協力し、学校行事を自分たちで作っています。また地域とのつながりも強く、20年の付き合いがある団体もあります。また次回も、と声をかけてもらえるのは「強く・正しく・明るく」という校訓のような生徒たちの取り組みの成果であり、これからもその縁を大切につないでいきます。

取り組み内容

生徒主体の生徒会活動

1 dios北千里(複合商業施設)の祭りに参加

GW祭り、夏祭りといったイベントが定期的になり、その中のステージイベントで本校ダンス部と吹奏楽部がたびたび出演しています。チラシのキービジュアルを文化系クラブが担当することもあります。(今回は文芸部の生徒が描いたイラストが採用された。)



2 ペットボトルロケット大会(株)NANBU)の運営協力

千里北公園で行われるペットボトルロケットを飛ばすイベントで、オープニングにダンス部の披露、ペットボトルを使ったボーリングや輪投げなどの催し物の店番(ダンス部)をしたり、ロケットを飛ばすカウントダウンをする司会(生徒会役員)をしています。



3 大阪府立箕面支援学校との交流

近年はダンス部によるダンスパフォーマンスの中心の交流ですが、かつてはスポーツ交流等も行われていました。



4 吹田市立藤白台小学校 部活動交流

小学校6年生全員がどこかの部活生と交流しています。

参加部活動:
ダンス部、男女ソフトボール部、男女バスケットボール部、茶道部、書道部、科学部、漫画動画研究部、サッカー部



5 チャレンジDAY(吹田市健康づくり事業団)の運営協力

千里北公園で行われる様々なからだを動かす催し物のなかで、ストラックアウト(男子ソフトボール部)、キックターゲット(サッカー部)、ダンスコーナー(ダンス部)の運営・店番に関わっています。また、生徒会役員・ボランティア部の生徒が運営のお手伝いをしています。

生徒のメッセージ

第96代生徒会 会長
「生徒主体」の中心となって日々活動しています。自分たちで考えることが多く、大変なところもありますが、仲間と協力した後は達成感も得られ、とても楽しいです。

生徒のメッセージ

藤白台小学校との交流に参加した男子バスケ部 部長
一生懸命考えた交流内容を楽しそうにと取り組んでくれてとても楽しかったし、嬉しかったです。こういった地域の交流をもっと増やしてお互いのことを知っていけたら良いと思いました。

生徒のメッセージ

藤白台小学校交流に参加しているダンス部 部長
様々な場所でパフォーマンスや交流をさせていただき、それが良い刺激と経験となって、今年ずっと目標にしていた全国大会出場を叶えることができました。これからも向上心を持ち、部活に励みたいと思います。



がっこうしょうかい
学校紹介



ほんこう ひらかたし そうりつ ねん むか せん
本校は枚方市にある創立50年を迎えようとしている全
日制普通科の学校です。
べんきょう せいとかいかつどう がっこうぎょうじ ぶかつどう すべ
勉強と生徒会活動・学校行事及び部活動の全てにおい
て全力で取り組むことをモットーにしています。生徒たち
は大学受験をはじめ、一人ひとりの自らの進路に真摯に
向き合っています。また、生徒会活動等においては、みんな
でアイデアを出しあい学校を盛り上げています。
さらに、クラブ活動も盛んであり、全生徒の8割を超える
生徒が部活動に参加しています。

とく りく む ないよう
取り組み内容



1 生徒会 秋の仮装クリーンキャンペーン
(学校周辺地域清掃活動)

かつどうがいよう
活動概要

ほんこう へいせい ねんど ねん かい せいとかい よ かく さんか
本校では平成24年度より年2回、生徒会の呼びかけで各クラブなどから参加
者を募ってクリーンキャンペーン(地域清掃活動)を実施しています。通学路や
きんりん こうえん こうぜんじえき どうろ やく じかんほど せいそう
近隣の公園、光善寺駅までの道路(約1.2キロ)などを1時間程かけて清掃します。
今年度は、生徒たちの発案で「ハロウィン仮装」姿での清掃を初めて実施しま
した。生徒会、各クラブ員のほかに有志生徒や飛び入り参加者ら、計約150人
が参加し、ゴミ袋10袋分のゴミを収集することができました。さらに、大きな
声で「こんにちは!」とあいさつをしながら、活動を実施しました。



せいと
生徒のメッセージ

せいとかいちょう
生徒会長

クリーンキャンペーンではみんなで

楽しく仮装して清掃できました。

地域にも貢献できてよかったです。

これからも続けていきます。



せいと
生徒のメッセージ

せいとかいふくかいちょう
生徒会副会長

みんなで仮装をすることでいつも以上に

楽しく掃除ができました。

地域の方々が声をかけてくださり

すごく嬉しかったです。

さいせい ふみんうんどう かんれん
こころの再生府民運動との関連

ふだん ちいき かんしゃ きも わず ちいき
普段より地域のみなさまの「おかげさんで」の感謝の気持ちを忘れず、地域
に出ていく中でみなさんへの「あいさつ」を通じてコミュニティを大切にする
ことができる機会となっています。今回は生徒からの声を聞きハロウィン仮装
企画を取り入れて実施しました。生徒の「ユーモア」が光る企画でした。創造性
のある衣装で参加し大いに盛り上げてくれ、地域の方々からも感謝やお褒め
のお声がけをいただきました。



せいと
生徒のメッセージ

たいいくいいんちょう
体育委員長

クリーンキャンペーンを通して
地域の皆さまと交流する

契機となりいい経験になりました。

仮装することでより楽しみながら清掃できました。





がっこうしょうかい
学校紹介



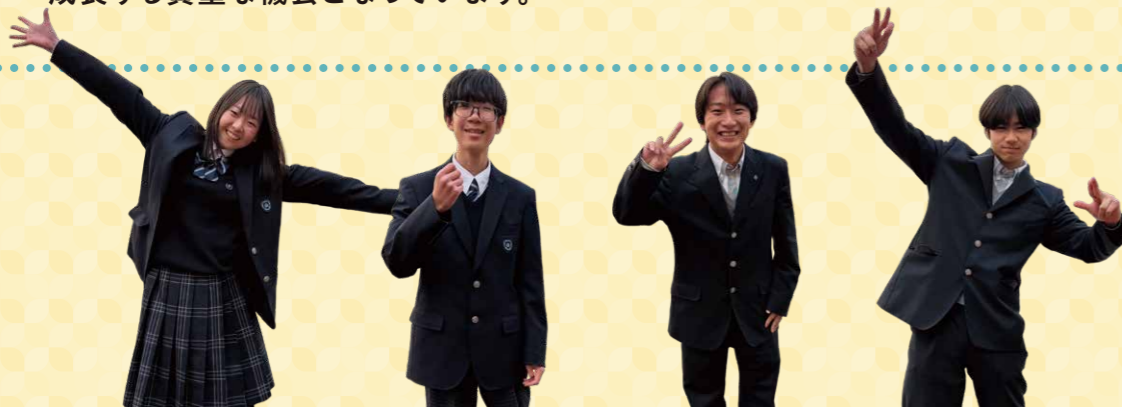
本校は1972年、地域の期待と支援のもと摂津の地に創立され、2011年には体育科を設置した活気ある学校です。一人ひとりの個性を大切に、多様な学びを通して力を伸ばす教育を推進しています。礼儀と人を思う心、自主性と責任感、社会に貢献する精神を育み、生徒・保護者・地域から信頼される学校をめざしています。

とくく組み内容
取り組み内容

1 令和7年度 摂津高等学校地域清掃

本校では、地域に貢献する心を育むことを目的に、部活動に所属する生徒が、9年にわたり地域清掃活動に取り組んでいます。生徒たちは学校周辺や通学路、公園などの清掃を通して、地域の方々との交流を深め、感謝と思いやりの心を実践しています。

この取り組みは、「生命(いのち)を大切にする」「思いやる」「感謝する」「努力する」「ルールやマナーを守る」といった「こころの再生」府民運動が掲げる「大切なこころ」の実践そのものであり、生徒一人ひとりが地域社会の一員として成長する貴重な機会となっています。



せいの生徒のメッセージ

清掃活動を通して、普段何気なく使っている地域の道路や公園が多くの人に支えられていることに気づきました。誰に見られていなくても、地域のために行動することの大切さを学び、これからも続けていきたいと思いました。



せいの生徒のメッセージ

体育科と普通科の生徒と一緒に

部活動を通して参加し、仲間として協力できたことが印象に残りました。この経験を通して、学校全体のつながりが深まったと感じました。



せいの生徒のメッセージ

自分たちの行動が地域の環境を少しでも守ることにつながったと思うと、とてもうれしかったです。小さな取り組みでも、地域の役に立てたと感じられたことが、心に残る経験になりました。





学校紹介



野崎高校は、昭和51(1976)年に創立された第100番めの府立高校(全日制普通科)で、今年度、創立50周年を迎えます。「生徒一人ひとりを大切にする」ことをモットーに、地域に愛され、信頼される学校として、生徒や保護者の期待に応える学校となることをめざしています。生徒全員が「夢を見つける!」「夢をかなえる!」ことができるよう、教職員がいつも一人ひとりに寄り添い応援します。「生徒が主役」の、笑顔と元気があふれる学校です。

取り組み内容

「地域の子どもたち」「里山の竹林」「中庭の小鳥」ところ通わせる

1 フォークソング部の地域イベントでの演奏(茨田まつり)

フォークソング部は、7月19日に開かれた茨田高校の近隣地域のイベントである「茨田まつり」にて演奏をしました。本校は令和5年度から再編整備によって茨田高校と機能統合されました。野崎高校として今年度はじめて参加したイベントですが、閉校した茨田高校軽音楽部の魂を引継ぎ、一生懸命演奏し、地域のお祭りを盛り上げることに貢献できました。イベントを通してつながる、人と人との絆を感じるフォークソング部の活動は続いています。

生徒のメッセージ

めっちゃ楽しかった!
あんなに喜んでもらえるなんて思っていなかった!



2 フォークソング部の地域イベントでの演奏(四条フェスティバル)



フォークソング部は、11月8日に開かれた野崎高校近隣地域のイベント「四条フェスティバル」に参加しました。野崎高校近隣の大東市立四条小学校を舞台に、地域の子どもたちを中心に様々な世代が集う大きなお祭りです。

多くの観客の皆さんをステージングで魅了し、一緒に楽しめた本番でした!小学生のリクエストにも応え、アンパンマンマーチの演奏も行いました。演奏後には、世代を越えた出演者どうしのコミュニケーションもあり、今後の活動の幅が広がる予感がありました。

3 里山ボランティアでの地域貢献

地域の「だいとう森づくりクラブ」が行う竹林保全活動に、生徒会と有志メンバーで参加をしました。新型コロナウイルスの影響で数年間中断していた里山ボランティアですが、今年度は3回の活動を実施

しました。伐採された竹や木々を決められた場所に運ぶことが主な活動内容です。普段お世話になっている地元への貢献活動を来年度以降も続けていきたいと考えています。



生徒のメッセージ

普段見られない生き物や景色を見ることができ、自然と触れ合える貴重な経験になりました。作業をしていく中で、森の美しさを実感することができました。

4 渡り廊下の窓をスタンドグラスにして鳥を守る活動



本校の美化にご尽力いただいている作業員の方から、「毎年渡り廊下の窓に小鳥が激突する姿をよく見て、とても可哀そうだ」という話を聞いた生徒たちが、鳥が窓にぶつからないようにスタンドグラスを作りました。生徒たちは、最初、鳥に窓があることをわかってもらうために、窓に美術の作品を貼ることを考えましたが、渡り廊下が暗くなってしまうようにスタンドグラス風の作品を制作することにしました。今回は初めてなので簡単なアルファベットと鳥のシルエットをデザインしました。関わった生徒たちは、今後はさらにデザインの凝ったものも作って、鳥が窓にぶつかることのないようにしてあげたいと考えています。



学校紹介



昭和30年に普通科高校として開校した本校は、文武両道をめざす「二兎を獲る」の理念のもと、人権意識とグローバルな視点を備え、高い志を抱いて社会に貢献する人物を育成することをスクールミッションとして、日々多種多様な教育活動を展開しています。また、平成5年度に「芸能文化科」、令和2年度に「共生推進教室」を設置し、大阪の文化の発展に寄与できる人材やともに学びともに生きることを大切にできる人物の育成にも努めています。

取り組み内容

1 校外クリーンUPキャンペーン

大阪市一斉清掃「クリーンUP」作戦に加わり、本校敷地周辺と最寄駅（近鉄「針中野」&大阪メトロ「駒川中野」）からの通学路の清掃活動を行っています。活動を通して、「住みやすい街づくり」と「地域に愛される学校づくり」に貢献することで、人のために行動することの喜びを体験できることに加え、生徒の自己肯定感の醸成に役立っています。

今後も、地域に愛される学校をめざすとともに、主体的な貢献活動を通して参加生徒の“豊かな心”を育む取り組みとして、続けていきたいと考えています。



生徒のメッセージ

いつも登下校で通っている道をあらためて見ると、**たばこの吸い殻や駅の近くにあるコンビニのゴミなどがすごく多いと感じました。**
また、活動するときには団体で動くので、**他のクラスの人と関わってよかったです。**
来年ももう一度参加したいです。



生徒のメッセージ

自分が思っていたよりも、町にはゴミが**落ちて**いることを知りました。
活動を通して違うクラスの美化委員とも協力して取り組んだことで、**新しい交友関係を広げることもできました。**
一番嬉しかったことは、町の人が活動中に感謝の言葉をかけてくれたことです。



生徒のメッセージ

掃除がこんなに気持ちよかったですなんて知りませんでした。
この喜びをみんなにも味わってほしいです。





がっこうしょうかい
学校紹介



本校は昭和54年(1979年)に大阪府立の第121番めの高校として開校しました。大阪府最南端に位置し、令和6年度よりステップスクールとして新たな一歩を踏み始めました。山や海に囲まれた自然豊かな環境にあり、その恵まれた環境を授業や特別活動に活かし、地域と連携した取り組みを実践しています。生徒一人ひとりが地域と関わることで、様々なことにチャレンジし、充実した高校生活をおくっています。

とくりにくみないよう
取り組み内容

1 はんなんし こどもしょくどう
阪南市子ども食堂ボランティアへの参加

本校ではステップスクール改編に伴い、地域と連携した取り組みに力を入れていることから、生徒会活動を通じた地域との交流に取り組んでいます。特に子ども食堂ボランティアへの参加は地域の幅広い年齢の方々と交流することができ、阪南市社会福祉協議会の協力のもとで阪南市内2か所の子ども食堂に参加し、地域共生の一員として貢献しています。



せいと
生徒のメッセージ

私たち生徒会執行部では、子ども食堂など校外でのボランティア活動や地域のイベントのお手伝いに取り組んでいます。校内でも学校をよりよくするための活動をおこなっています。

せいと
生徒のメッセージ

地域活動を通して、人とのつながりや支え合いの大切さを学びました。感謝の言葉をいただき、自分の行動が誰かの役に立つ喜びを実感しました。



せいと
生徒のメッセージ

子ども食堂とボランティアで職員の人と協力して子どもたちを笑顔にできてうれしかったです。



がっこうしょうかい
学校紹介



ほんこう へいせい ねん いけしまこうこう せいゆうこうこう さいへんせいび
本校は、平成20年に池島高校と清友高校とが再編整備
されて開校し、平成28年度から「人文探究専門コース」と
「こども保育専門コース」を設置しています。本校は豊かな
自然環境に恵まれ、生徒は日々の授業やクラス活動、行事
や部活動、地域との交流活動などに熱心に取り組んでい
ます。「地域に根ざし、地域とともに歩む学校」、「4つの力
(確かな学力・コミュニケーション力・課題解決力・地域貢
献力)を引き出し、伸ばす学校」をめざしています。

とくく さいよう
取り組み内容

1 ぜんこう うんどう
全校あいさつ運動

まいとし がつげじゆん がつじょうじゆん たいいくさい きかん
毎年4月下旬から6月上旬の体育祭にかけての期間で、
たいいくさい おうえんだんかつどう いっかん おうえんだん せいと こうもん
体育祭の応援団活動の一環として応援団の生徒が校門
まえ た せいと ちいき ひと うんどう じっし
前に立ち、生徒や地域の人たちにあいさつ運動を実施
しています。生徒会からの呼びかけで「こころの再生」
ふみんうんどう
府民運動の7つのアクションのなかの「あいさつをもっと
たいせつ かんれん かつどう おこな
大切にしよう」に関連した活動を行っています。

せいと
生徒のメッセージ

うんどう けいぞく
あいさつ運動を継続することで
がくねん こ なか ふか
学年を越えて仲が深まったので、
たいせつ じっかん
あいさつの大切さを実感した。



2

おんちがわちすいりょくち せいそうかつどう
恩智川治水緑地での清掃活動



ほんこう ねんいじょうまえ かつどう ちいき せいそうかつどう
本校では、10年以上前からHR活動・地域の清掃活動
いっかん がくねんせいとぜんいん おんちがわちすいりょくち
の一環として、学年生徒全員で「恩智川治水緑地におけ
る清掃活動」を地域と協力して実施しており、「こころの
せいそうかつどう ちいき きょうりょく じっし
再生」府民運動の7つのアクションのなかの「地域にど
さいせい ふみんうんどう ちいき
んで出ている」に関連した活動を行っています。
で かんれん かつどう おこな
昨年度からは東大阪市役所との連携も行っている。
さくねんど ひがしおおさかしやくしょ れんけい おこな
大阪府が行う「アドプト・リバー・プログラム」に参加し、
おおさかふ おこな さんか
地域貢献部は恩智川の清掃活動や恩智川での生態調
ちいきこうけんぶ おんちがわ せいそうかつどう おんちがわ せいたいちよう
査も行っています。 さ おこな

せいと
生徒のメッセージ

がっこうぎょうじ ちいきせいそう
学校行事としての地域清掃
かつどう ながねん つづ
(クリーン活動)は長年、続けている
ほんこう でんどう
本校の伝統です。

せいと
生徒のメッセージ

すいしんこう
SafetyBicycle推進校として
ちいき じてんしゃこうつうおんぜん
地域で自転車交通安全に
とく
取り組んでいます。
おうえん ねが
応援をお願いします。





住所 | 〒578-0958 大阪府東大阪市新庄南1-33

がっこうしょうかい
学校紹介



本校は互いの個性と人格を尊び、未来を切り拓く力と意欲を持った生徒の育成を目指しています。知識・技能をつなぐ質の高いアウトプットを重視し、生徒が「わかった」と実感できる授業づくりを実施しているほか、毎週金曜日には放課後学習教室を実施するなど学習支援体制も充実させています。小中一貫教育の充実や地域教育推進会等との連携を通じて、地域一体で生徒を育む体制を整えています。

とくろく
取り組み内容

1 きゅうしよく ざんぱん たいひ
給食の残飯で堆肥をつくろう

生徒数が850人以上の規模の大きな本校では、給食の残飯がどうしても多くなってしまうことから、「コンポストによる残飯の再利用を試みたい」という生徒会からの発案のもと、本取り組みがスタートしました。市と給食業者さんと相談をし、残飯を土と混ぜ、肥料として再利用できないか、検討を進めていきました。どのような残飯がうまく肥料になるのか、分解されて肥料に変わる様子を日々観察しながら、適切な残飯の種類や量について試行錯誤を重ねた結果、ようやく肥料を完成させることができました。

盾津中学校区では毎年11月に地域行事の「盾津ふれあいフェスティバル」が中学校で開催されます。「校内と地域をお花できれいにしたい」という思いから、完成させた肥料を校内のプランターに使用したり、フェスティバルに訪れた地域の方に配布したいと考えています。



※コンポスト…
 生ごみや落ち葉などの有機物を微生物の力で発酵・分解させ、堆肥を作る仕組み。

盾津の“給食コンポスト”のご紹介

盾津中学生会では、給食の残りを土と混ぜて、微生物の力で肥料に変身させる“給食コンポスト”を、生徒が主体となって行っています。



今年度の盾フェスでは、完成した肥料を地域の皆さまに配布し、地域の環境整備に役立ててもらいたいと思っています。皆さまの温かいご支援を、どうかよろしくお願いします。
東大阪市立盾津中学校 令和7年度 後期生徒会執行部

肥料の使い方

☆土と混ぜる
 →この肥料だけでは使えません。
 土の量に対して1.2割程度を目安に、よく混ぜ込んでください。

☆土壌改良に最適
 →肥料を使うことで、ふかふかの土に！
 水はけや通気性に優れた、プランターや家庭菜園の土として活用できます！

せいと 生徒のメッセージ

給食の残飯が多いことから、残飯を土と混ぜてコンポストを行っています。

盾津ふれあいフェスティバルでコンポストでできた肥料を地域の方々にお届けしました。



せいと 生徒のメッセージ

コンポスト活動を通して給食の残食を減らすことができた上、これからの社会で必要とされる事も実行できたと感じています！この活動が広がりより良い未来に繋がれば嬉しいです!!



せいと 生徒のメッセージ

学年や性別に関係なく、私たち自身で計画や当番表を作り、主体的に取り組んできました。この活動が、食品ロスや環境についてみんなで考えるきっかけになればうれしいです。





がっこうしょうかい
学校紹介



ほんこう じんじゃしんどう けんがく せいしん じょうめいしょうちよく こうくん
 本校は神社神道を建学の精神とし「浄明正直」の校訓のもと、「世のため、人のために尽くす」ことのできる心身の育成と、生徒一人ひとり自主性の育む教育を実践しています。最新鋭の教室環境で、英語教育・道徳教育・ICT教育に力を入れており、クラブ活動も盛んです。特に土曜日には3Sと称した、興味や進路に合わせた多彩なプログラムを展開しており、生徒たちが自ら主体的に学びを深める機会を設けています。

とく り ぐ む び 内容
取り組み内容

くるま すみよしたいしゃ さんばい
1 車いす de 住吉大社参拝プロジェクト

なにわちゅうがっこう じんじゃしんどう けんがく せいしん じょうめいしょうちよく こうくん
 浪速中学校は、神社神道を建学の精神とし「浄明正直」の校訓のもと、「世のため、人のために尽くす」ことのできる心の育成と生徒の自主性を重んじています。

ほん プロジェクトは、住吉大社を「誰でも参拝できて、心に残る思い出の場所にしたい」という思いからスタート。そこで、伊勢神宮での車いすボランティア団体や住吉区社会福祉協議会、住吉大社の協力を得て実行委員会を立ち上げ、生徒自らが「チラシの作成」「ボランティアの募集」「参拝ルートの設定」「住吉大社の学習会」「玉砂利の上での車いす操作練習」などを実施しました。単に参拝するだけでなく、普段の学習で身につけている、神社での作法や神社の説明などを発揮できたことは、一般的なボランティアとは一線を画す活動となりました。

じんじゃ けいけん たいせつ まも いしだみ たまじやり だんさ ぶつりてき
 神社らしい景観を大切に守りながら、石畳や玉砂利、段差などの物理的なバリアをどのように克服できるか、住吉大社の魅力をどのように伝えることができるかについて、仲間とともに試行錯誤を重ねたことは、私たちにとって大変貴重な経験となりました。

とうじつ りりょうしゃ かた なみだ かんしゃ ことば わたし じしん むね
 当日、利用者の方から涙ぐみながら感謝の言葉をいただいたときには、私たち自身も胸が熱くなり、この取り組みの意義を強く実感しました。今回の経験を生かし、これからも誰かのためになる活動を大切にしながら、さまざまな取り組みを実践していきたいと思ひます。



せいと
生徒のメッセージ

みちか くるま 椅子 りりょう 利用者 かた
 身近に車椅子を利用される方がおらず、接する機会がありませんでしたが、活動を通じて、当事者の視点や街の改善点を学びました。この経験を糧に、広い視野を持って周囲に接したいです。



せいと
生徒のメッセージ

プロジェクトを通じて、「助ける」のではなく「寄り添う」大切さを学びました。ボランティアを「寄り添い合う」学びの場として広めたいです。誰もが支え合える社会を願っています。



せいと
生徒のメッセージ

この活動を通じ、災害時や日常で困っている車椅子を利用される方々を助ける自信ができました。実際に学んだ知識を活かして手助けもでき、こうした取り組みが社会に必要であることを強く実感しました。



© 2014 大阪府もずやん

こころの再生

検索

スマホはこちらから
アクセスできます▶

